

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ウイズユー千代工場
住 所	鳥取市晩稲306番地
電話番号	0857-31-0077

事業所番号	3110100546
管理者名	岡部哲彦
対象年度	令和4年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上	<input type="radio"/>	80 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		5 点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上でない	<input type="radio"/>	
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
◎ ①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
②利用者を職員として登用する制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計（注1）		8 点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった		
②研修、学会等又は学会誌等において発表		○
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○
いずれか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている		
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		○
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ⑤職員の人事評価制度		○
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		○
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		○
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		8 点

（※）任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	<input type="radio"/>	10 点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	80
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点				10点				10

合計	
165	点 / 200点

（※）任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～ IV）

(I) 労働時間

前年度（平成30年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	103,266	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	14,051	人	利用者の1日の平均労働時間数	7.3	時間
-----------------------------	---------	----	-------------------	--------	---	----------------	-----	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（令和2年度）

生産活動収入から経費を除いた額	56,223,007	円	利用者に支払った資金総額	74,485,279	円	収支	▲ 18,262,272	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	47,886,925	円	利用者に支払った資金総額	73,082,962	円	収支	▲ 25,196,037	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

(III) 多様な働き方

前年度（令和3年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 ● 名

※取得を進めた免許等： ○○○

制度の活用内容： ○○○

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 職員として登用した人数 ● 名

◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※登用した日 ●年 ●月 ●日

勤務形態： ○○○

就業時間： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数 ● 名

※実施した期間： ●月●日～●月●日

就業時間（在宅勤務）： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数 ● 名

※実施した期間： ●月●日～●月●日

就業時間（コアタイム）： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数 ● 名

※実施した期間： ●月●日～●月●日

就業時間（短時間）： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数 7 名

※実施した期間： 8月1日～8月31日

就業時間（早出の場合）： 7時15分～16時30分

就業時間（遅出の場合）： ●時●分～●時●分

職務内容： 野菜の水耕栽培

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数 55 名

◎ 計画的付与制度を活用した人数 55 名

※取得した制度 有給休暇の時間単位取得

計画的付与制度

取得した期間： 12月1日～12月31日

取得日数・時間 2日 6時間

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数 2 名

※取得した内容： 傷病休暇

取得した期間： 8月29日～9月25日

就業時間： 8時15分～17時25分

職務内容： クリーニング業務

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（●年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している

◎ 研修実施回数 外部 4回/内部 2回

対象職員数 14 人

うち研修受講者数 15 人

※研修名 障がい福祉サービス従事者研修

研修講師

実施日・受講者数 8月 11日 2人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 ● 回

※研修、学会等名 ○○○

実施日 ●月 ●日

※学会誌等名 ○○○

掲載日 ●月 ●日

発表テーマ ○○○

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している

◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名 水野商事株式会社

実施日/参加者数 3月 2日 7人

※他の事業所名 障害者就業・生活支援センター しらはま

実施日/参加者数 12月 21日 2人

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数 2 回

※商談会等名 県外への出荷展開

主催者名 鳥取中央青果

日時 4月 2日

内容 県外でのスーパー等との販路拡大商談会

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している

◎ 当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 2年 4月 13日

人事評価制度の対象職員数 14 名

うち昇給・昇格を行った者 0 名

当該人事評価制度の周知方法 制度説明資料を全職員に配布

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している

◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※配置期間 ●月●日～●月●日

就業時間

職務内容 ○○○

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 ●月 ●日

第三者評価機関 ○○○

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 ●月 ●日

規格等の内容 ○○○

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等、

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ウイズユー千代工場
住 所	鳥取市晩稲 3 0 6 番地
電話番号	0857-31-0077

事業所番号	3110100546
管理者名	岡部哲彦
対象年度	令和 4 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>【活動場所】ウイズユー千代工場、下段きのごセンター 【実施期間】2019年12月9日～2021年9月30日 【実施概要】バイオマスボイラーを設置し、周辺地域で未活用のバイオマス（廃菌床、建築廃材 等）を燃料化しボイラーの燃料とする実証試験</p>	<p><活動の様子></p> <p>（別紙参照）</p>
<p><目的></p> <p>国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の地域自立システム化実証事業を利用し、地元企業で林業部門に精通する（株）智頭石油と連携を組み、クリーニング工場では、主熱源には重油を燃料とした蒸気ボイラーを使用している。また、別に運営するきのごセンターから廃菌床が大量に発生し未活用で廃棄している。周辺地域では果樹剪定枝等の廃棄バイオマスや間伐材チップも入手が容易であり、これら燃料を利用できるバイオマスボイラーを新設し、太陽熱や廃熱を利用した燃料の乾燥システム構築や廃熱活用を行うことで、地域のエネルギーを有効活用した地産地消モデルを構築する。以上の事業を国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の地域自立システム化実証事業を利用し、地元企業で林業部門に精通する（株）智頭石油と連携を組み実施する。</p>	
<p><成果></p> <p>未利用であった廃菌床の燃料化が成功し、化石燃料である重油の使用量を大きく削減することができ、環境面・経済面に貢献できた。また、本事業の成功例をもとに各地で問題となっている廃菌床の利用が促される。</p>	
<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none">・設備類の不具合が発生しているため、今後の運用方法の検討が必要。・天候が悪い時期の廃菌床の乾燥方法の工夫が必要。	

連携先の企業等の意見または評価

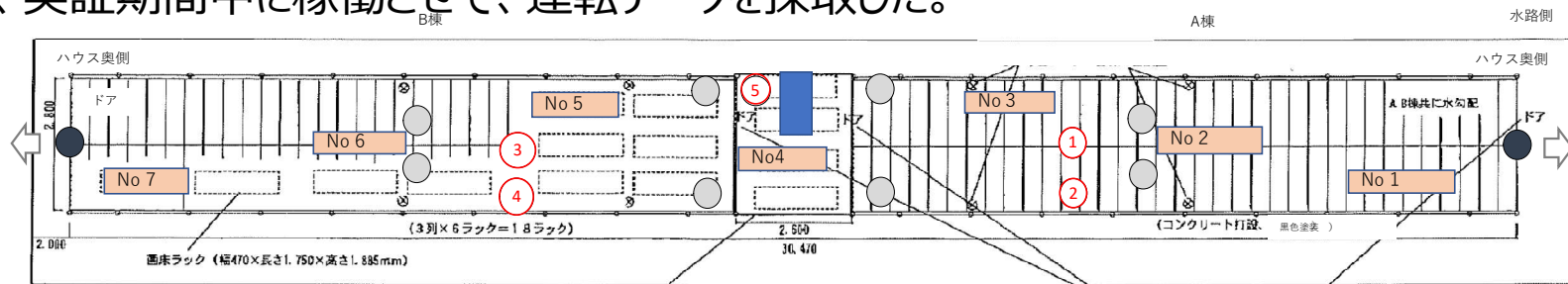
<p>【評価】</p> <p>廃菌床を活用する熱エネルギーモデルは条件付きながら今後の展開が期待できる。</p> <p>【今後への課題】</p> <p>本事業の成果を類似の事業に広く展開できるようにエネルギー収支、経済性評価、地域経済への貢献度などのシステム全体としての評価が必要となる。</p>			
連携先企業名	智頭石油株式会社、 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	担当者名	米井康史

2. 事業実施内容

2-1. 廃菌床用乾燥ハウス一式



以下の設備を導入して、実証期間中に稼働させて、運転データを採取した。



廃菌床を自然乾燥させるためにきのこセンター敷地内に、廃菌床用乾燥ハウス(幅2.8m×長さ14m×高さ約3mのビニールハウス)を2棟設置した。

乾燥ハウスには、換気扇を1台及びサーキュレーターを4台各々設置した。乾燥ハウスの両側は開閉でき、外気を取り込むことができる。また、乾燥ハウス内の輻射を考慮して、上図(右がA棟、左がB棟)において、A棟は床面を黒く塗布した。乾燥ハウスの両妻面は扉が設置されており、ここも開閉が出来るようにした。

写真(左上から、きのこハウス、廃菌床、乾燥ハウス、同A棟、両側シート開閉ノブ、換気扇)。下表は各設備の仕様・数量などを示す。

設備名	項目	仕様・数量
乾燥ハウス	棟数	2棟
	寸法	幅2.8m×長さ14m×高さ約3m
	材質	高強度鋼管、クリーンテート、キラ虫ネット等
	開閉部	2面、幅1.2m高さ2.2m、防虫ネット設置
	設備	換気扇1個、コンセント、配電盤等
	床部	A棟(黒)、B棟(白:黒塗装せず)
	サーキュレーター	台数
	能力	36m3/min-単相100V
はかり等	-	パー型スケール、秤量1,000kg、スロープ等

A棟とB棟の間にもラック設置

- : サーキュレーター
- : 換気扇
- : 重さを計測するはかり
- (No1) : 重さを計測する台車 No1~No7の7台

